

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	埼玉県和光市	代表者名	柴崎 光子
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	048-424-9092
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	柳下 真美
住所	351-0192 埼玉県和光市広沢1-5		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	講師が元行政職員であることから、「市役所の立場もわかってくださり、仕事に直結する、イメージしやすい研修内容で聞きやすかった。」、「DXを活用した事例を含め現場にも活用できることが多くあることに気づかされた。」、「DXについて、とても分かりやすくその必要性を説いてくれたことで、DXについての理解が進みました。」など、各職員がDXについてイメージしやすい研修内容であったことから、DXについて前向きに捉えている感想が多く寄せられた。今回の研修は、階層別に実施し、各職位におけるデジタルマインド醸成を行うことが目的であり、その目的を達成できる内容であった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和6年2月5日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	17時00分	90
			活動時間（分）	390	
3-2. 派遣場所	会場名	埼玉県和光市役所	最寄駅	和光市	
	所在地	埼玉県和光市広沢1-5	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	管理職員及び一般職員	37人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当市では、今までDXに特化した職員研修を実施していないため、庁内において「DX」が実際にどのようなもので、取り組む必要があるのか等の基礎的な知識が根付いておらず、職員間での意識のバラつきが見られる。まずは、デジタル技術を取り入れることで、業務効率向上や市民サービス向上が図られることを認識し、各職員がDX推進を自分事として捉えられるよう職員のデジタルマインドの醸成を行うことが大きな課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	管理職員及び一般職員を対象とした職位別研修であるため、幹部職員が「DX」について基礎的な知識を身に着け、各職員がDX推進を自分事として捉えることで、各部・各課の業務においてデジタル技術を取り入れた事業の検討をするきっかけとする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	管理職員及び一般職員を対象としたDX推進に向けた職員のデジタルマインドの醸成及び人材育成に繋がる研修の実施。具体的には、DXの基礎知識に加え、各部、各課においてDX推進を自分事と捉え、デジタル技術を活用した事業の構築の取り組み方や考え方等についての研修内容で実施いただいた。また、一般職員向けには、講義に加えワークショップを実施していただいた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	自治体DX全体手順書のステップ0において、「DXの実現に向け、首長や幹部職員によるリーダーシップや強いコミットメントが重要」と示されている。 今回の研修を受け、管理職員から「DXが今後の市政運営になぜ必要なのか、様々な身近に感じられる事例を通して学ぶことができた。」など、管理職員に対するデジタルマインド醸成に繋がっている。 また、一般職員からは「趣旨の一つであるDXについての説明ができるくらい理解が深まった」、「DXとは、デジタル部門に特化した部署のテーマだと漠然と感じていたが、研修を受けて、全職員に必然的に関係するものであるということとがわかった。」など、職員の意識改革に繋がった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は以下のとおりであり、職員のデジタルマインド醸成につながったと考えられる。 ・研修内容については、約9割以上が良いと回答 ・研修内容の理解度(DX・デジタルマインドの醸成など)については、約9割が理解できたと回答 ・研修の活用度については、約8割が活用できると回答	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	職員一人ひとりがDX推進の重要性を認識し自分事として捉えることで、デジタル技術を取り入れた事業の検討を行い、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を目指す。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

